

宮城県宮城野高等学校 [全日制課程 (普通科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県宮城野高等学校は、創造的自由の精神を重んじ、自他の「しあわせ」のために、画一的な考えに縛られることなく、高度な未来デザイン力をもって未来社会を構想し、その実現のために主体的・自主的に探究し、行動できる人材を育成します。生徒には、デザインの発想を課題解決に生かす「デザイン思考」を身に付けさせ、教育課程内外の活動において繰り返し活用・実践することを促し、自由な発想で社会に貢献する人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

<未来デザイン力> 「デザイン思考」について学び、自分の得意や個性を生かして、社会に貢献し、よりよい未来社会を創造する力を育成します。

<自己教育力> 社会の変化にいち早く対応し、自ら学びに向かう力、正解のない問題に対して、他者との対話を繰り返しながら、粘り強く立ち向かう力を育成します。

<共生と奉仕の精神> 他者を尊重しながら、自他を「しあわせ」にする企画力を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

○自らの進路を切り拓く確かな学力と知的探究心の育成を重視します。

→ 大学等への進学を視野に入れた授業においても、ICTの活用や探究的な学びなど、時代に求められる新たな学びのあり方を模索・追求していきます。

○個性を生かして社会へ貢献する力を身に付ける探究活動を実践します。

→ 「デザイン思考」や「探究スキル」を身に付けるとともに、多様な探究手法の中から、自らの得意や個性に応じたものを選んで行う探究活動を推進します。

○教科・領域横断型の学校設定科目を設定し、多角的に物事を洞察する力を養います。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

○本校の校風に共感し、高い目標を掲げ、自主的・自律的に学び、自己の進路実現のために継続的に努力することができる生徒

○本校普通科の教育課程に適応しうる確かな学力を備えている生徒

○本校の一員として自覚をもち、自主的ボランティアによる生徒企画行事や自治活動、校外での社会貢献活動などに積極的に参加しようという意欲を有する生徒

○現代社会の諸課題に対して興味・関心をもち、その本質に迫ろうとする探究心と、他者との対話をとおして多角的な視点を獲得し、課題解決の方策を構想しようとする意欲を有する生徒

○互いの個性を尊重し、相手の立場を考えて他者とのコミュニケーションを図ることができる生徒

学校名	宮城県宮城野高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	普通科	募集定員	200人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	なし	
	共通選抜		
	募集人数	140人（募集定員の 70 %）	
	学力検査:調査書	7 : 3	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は7 : 3とする。		
	特色選抜		
	募集人数	60人（募集定員の 30 %）	
	配点	1 調査書 232.5点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.5倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 750点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.5倍にする	982.5点
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する60人の120%の範囲に含まれる者（72人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	525点
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県宮城野高等学校 [全日制課程 (美術科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県宮城野高等学校は、創造的自由の精神を重んじ、自他の「しあわせ」のために、画一的な考えに縛られることなく、高度な未来デザイン力をもって未来社会を構想し、その実現のために主体的・自主的に探究し、行動できる人材を育成します。生徒には、デザインの発想を課題解決に生かす「デザイン思考」を身に付けさせ、教育課程内外の活動において繰り返し活用・実践することを促し、自由な発想で社会に貢献する人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

<未来デザイン力> 「デザイン思考」について学び、自分の得意や個性を生かして、社会に貢献し、よりよい未来社会を創造する力を育成します。

<自己教育力> 社会の変化にいち早く対応し、自ら学びに向かう力、正解のない問題に対して、他者との対話を繰り返しながら、粘り強く立ち向かう力を育成します。

<共生と奉仕の精神> 他者を尊重しながら、自他を「しあわせ」にする企画力を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

○自らの進路を切り拓く確かな学力と知的探究心の育成を重視します。

→ 大学等への進学を視野に入れた授業においても、ICTの活用や探究的な学びなど、時代に求められる新たな学びのあり方を模索・追求していきます。

○個性を生かして社会へ貢献する力を身に付ける探究活動を実践します。

→ 「デザイン思考」や「探究スキル」を身に付けるとともに、多様な探究手法の中から、自らの得意や個性に応じたものを選んで行う探究活動を推進します。

○美術専門科目における表現と鑑賞を充実させ、美術の学びを深化することで、芸術と社会の関わりなどから考察し、未来デザイン力を養います。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

○本校の校風に共感し、高い目標を掲げ、自主的・自律的に学び、学業と創作活動の両立に努めることができる生徒

○本校美術科の教育課程に適応しうる確かな学力を備えている生徒

○創作活動に粘り強く取り組むことができ、絵画・彫刻・工芸・デザイン等に優れた創造的能力を有する生徒

○現代社会の様々な課題に対して興味・関心をもち、その本質を追究しようとする好奇心と、発想や構想力で課題を解決しようとする意欲を有する生徒

○他者との対話や芸術的体験をとおして多様な価値観を見出し、新しい視点を得ようとする生徒

学校名	宮城県宮城野高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	美術科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	特色選抜 → 共通選抜		
	第2志望とすることができる学科・コース	普通科		
	共通選抜			
	募集人数	16人（募集定員の 40 %）		
	学力検査:調査書	7 : 3		
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は7 : 3とする。			
	特色選抜			
	募集人数	24人（募集定員の 60 %）		
	配点	1 調査書	195点	合計 795 点
		国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする		
2 学力検査		500点		
国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする				
3 実技	100点			
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点及び実技の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する24人の120%の範囲に含まれる者（28人）を対象として行う。 学力検査点、調査書点及び実技の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 			
面接・実技・作文のうち実施するもの	実技	1 形態：デッサン 2 時間：180分 3 内容：鉛筆デッサン 4 観点：(1) 造形的な要素 60点 (2) 制作過程等 40点 ※2日目に実施		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書	225点	合計 575 点
		国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする		
		2 学力検査	300点	
	国語、数学、英語 : 各教科100点満点			
	3 実技	50点		
1 形態：デッサン 2 時間：50分 3 内容：鉛筆デッサン 4 観点：(1) 造形的な要素 30点 (2) 制作過程等 20点				
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。			